



2023 基本構想

大阪初芝学園がめざすもの

このたび大阪初芝学園は、「2023基本構想第2次中期計画（以下、「2023基本構想」）を策定いたしました。この構想は、6年後の学園の将来像をイメージし、共通のビジョンを持つて学園創造に取り組んでいくために、策定されたものです。策定委員会の委員長を務めた國廣副理事長に話をうかがいました。



学校法人大阪初芝学園 副理事長 國廣 敏文

「2023基本構想第2次中期計画」の策定について

大阪初芝学園では、2008（平成20）年7月に学校法人立命館と教学提携し、新たな学園創造の議論を開始しました。その後、将来の学園の姿と目標を「2017基本構想・第1次中期計画」という形にまとめ、それらの実現に取り組んでまいりました。その結果、中期計画方式による学園づくりによって、学園全体で課題を共有し、物事を計画的に進めていくことの必要性や、データ分析に基づき課題を発見し問題解決にあたっていく事の重要性等が明確となりました。

他方で、少子高齢化や情報化の急速な進展、厳しい経済情勢や格差の拡大、層のグロウバル化などを背景として、大学入試改革、学習指導要領の改訂など教育を取り巻く社会状況は大きく変化し、学園を取り巻く情勢は層層厳しく、また複雑化してきています。

そうしたなかで昨年、「2017基本構想」の最終年度を迎え、この間の取り組みを振り返ってみようと、PDCAサイクル（計画→実行→チェック→改善）の定着や教員組織整備と諸規程の見直し・整備などの前進はみられたものの、最大の目標とした、教育の質の向上、やそれを支える財政基盤の確立と教学改革の大きな前進を図る点では課題を残しました。学園としては、これまでの取り組みをさらに継続・発展させて、学園・学校づくりを進める必要があると判断し、昨年1年間をかけた議論を行い、「2023基本構想」を策定いたしました。

「2023基本構想」において、大阪初芝学園のめざす学園像についてお聞かせください

私は、何よりも大阪初芝学園が、私学であることの意味、その重要性と責務を改めて自覚することが大事だと考えています。一言で表現すれば「私学に徹する」ということです。

私学には必ず、建学の精神と、教育理念があります。その学校の設立者が掲げた教育目標と教育理念です。それらが、各校の特色であり、その精神と理念を体現した教職員が、生徒や保護者と一緒になつてこの目標に立ち向かうのです。国公立とは違い、私学ではこうした建学の精神と教育理念に基づき特色のある独自教育が可能です。ここにこそ、私学の存在意義と優位性があると考えています。わが大阪初芝学園の、建学の精神は、「学園像」と「人材像」の中に表現されています。めざす「学園像」は、幼児教育ならびに初等中等教育を担う地域貢献型の総合学園です。育成する「人材像」は、国際社会の持続的・平和的發展ならびに人類社会の進歩と福祉社会の発展に貢献する人材です。そして、これらの目標を達成するうえで欠かせないのが、教育理念です。わが大阪初芝学園では、学園理念として「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」を定めています。

「2023基本構想」においては、先ず学園構成員の共通目標とする「学園像」および「人材像」そして育成すべき「人材像」を再確認し、持続的に社会貢献する学園・学校づくりを推進することとしました。教育力の強化による、教育の質のさらなる向上を通して、生徒・児童・園児の学力の育成と個性の伸長、予測困難な時代において、彼らと教職員が夢と高い志を持ち、その実現に挑戦し、意欲的に将来を開拓し、持続的・平和的な未来社会を創造する人材を育成する学園・学校づくりを目指します。

日本の教育史を振り返ってみると、向学心に燃え日本を国づくりを担う多くの若者を、国に先駆け育ててきたのは私学です。また、今日のようない転換期においては、モデル無き混沌とした社会において、私学の役割は、子どもたちがそれぞれの成長段階に応じて、自らの状況を的確に把握し、課題を発見し、自由で独創的な発想をもつて、人類社会の持続的・平和的發展に主体的に寄与できる創造的人材になれるようサポートすることにあります。

そうした学園づくりや人材育成には、何が必要でしょうか

私は、いま述べたような目標を実現する、改革の力の源は5つあると考えています。それは、①生徒・児童・園児たち自身の努力、②個々の教員の教育力量向上と人間的魅力、③校長・園長を中心とするリーダーシップに裏づけられた教職員の団結と行動力、教職員のチームワーク、④8つの学校園としてスティングスクールを持つ大阪初芝学園の総合力、そして⑤保護者や社会の皆さまからの支持と支援です。

生徒たちだけが頑張る、先生たちだけが頑張る。これでは大きな力にはなりません。みんなが目標に向かって、心と気持ちと志を一つにして頑張る中で、結果が出てと信じています。先生や仲間への助けを借りて、あるいは自分で努力して、昨日出来なかったことができるようになった。分からない問題や世界が広がった。それをみんなが応援して励ましてくれる。そうしたことが、子どもたちの自信や誇りにつながり、教職員のやる気や更なる努力につながると思っています。小さな雫が大河になるのです。

今日わが国においては、少子高齢化による労働人口の急減やグローバル化の急速な進展など、激動の時代を迎えています。2020年には、大学入試センター試験に代わって「大学入学希望者学力評価テスト」（以下、「新テスト」）が導入予定です。「新テスト」では、聞く・読む・書く・話すという4技能を評価できるようにし、英数国等どの科目にも記述式を導入し、成績評価も国際基準を採用し入れ段階別にするなど、検定試験と異なり、これが導入されれば、日本の教育のあり方も大きく変わることが予想されます。職業のあり方も大きく変わり、今の子どもたちが社会に出る頃は、現在では存在しない職業に就く可能性が高いとも言われています。

このような社会を生き抜いていくには「主体性を持って様々な人々と協働しながら、問題を見出し、その解決を見出し実践していく力」が必要で、それには、「考え、判断し、伝える」プロセスと、何よりも学習者が「主体」となる学びが不可欠です。

さらに、これからのグローバル社会においては、自国のみならず、多様なバックグラウンドを持つ人々と、様々な事情を超えて諸問題に対応し協力することが求められます。われわれはこのような多様で複雑な問題に対して、主体的に取り組むこととする。「高い志」と、挑戦する精神を持ち、立場の異なる人々を理解し、尊重しあい協働することのできる人間を育てたいと考えています。

このような力を持った人材の育成が、いま社会から求められており、子どもたちが、わが大阪初芝学園の初等中等教育の中で、その礎となる力を育んでいくことを願っています。

先ほど、私学は、独自性や、自立性、持っていると言いました。しかし、私学は、社会から必要とされ、社会に支えられ、社会の中でのみ存在できるのです。その意味で、われわれ「初芝人」は、私学としての大阪初芝学園の「社会性」と、社会的責任を深く自覚し、教育の場での使命を果たして行くことと決意しています。

「2023基本構想」の具体化に向けて

この「2023基本構想」の具体化に向けて、学園構成員で話しあつたことがあります。それは、学園ならびに各校園が、生徒・児童・園児のことを中心にすえた、教学優先の原則のもとに、それぞれ「目指すべき学園像」と「人材像」の実現と具体化に向けて全力で取り組もうという決意です。そのことよつてのみ、大阪初芝学園の存在意義が発揮され、社会から支持され応援される学園として持続的に発展することが可能になると考えています。

これらを推進する民主主義的で一体的な学園風土を醸成するために、①コンプライアンスの遵守、②各校園の校長と執行部を先頭に、積極的かつ効果的な学校運営を行う、③教学課題の組織的・集团的把握と解決、④生徒・児童・園児・保護者・社会からの声に真摯に耳を傾け、それらを踏まえた民主主義的討論とコミュニケーションを行うことによる集团的英知の発揮もして行くことと決意しました。

混沌とした時代（こそ私学が、生き、私学が輝く）。その先頭に大阪初芝学園は立ちたいと考えています。皆さんから支持され尊敬される学園になるために、更なる努力を重ねる所存です。ご期待とご支援をよろしくお願いたします。

初芝富田林中学校高等学校

新大学入試を見据えた

初芝富田林中・高の新たな挑戦



校長 坂本 守孝

本校は、豊かな自然に囲まれた丘の上に位置し、恵まれた環境の中で日々教育活動に取り組んでおります。大阪初芝学園の理念である「夢と高い志、挑戦、そして未来創造」、「誠実剛毅の校訓の下、多彩な学校行事・クラブ活動を通じて、生徒たち一人ひとりを、主体的に行動し社会で活躍するリーダーに育成することを目指し、教育活動に励んでおります。

また、高校卒業までに、難関大学を目指す高い志と必要な学力を育むため、学習指導にも力を入れてきましたが、その成果として、本年度は、東京大学への現役合格をはじめ、国立大学への合格者が123名、関西私立大学の雄たる関関同立には213名という実績を挙げる事ができました。

さて、初芝富田林中・高は、これからも在校生および保護者の皆様、地域の皆様の期待に応え、「大阪府における上位進学校」の地位をいつそう揺るぎないものにしていくため、今年度より様々な改革をまいりますが、その一つがコース再編です。

新しいコース制は、高校入学生は高2次、中学入学生は中3次より「Will Frontierコース」と「未来創造コース」の2コースに再編するというものですが、各学年ごとに到達目標を設定し、その到達状況や学び方によって生徒自身がコースを選択していくというところに特徴があります。これにより、生徒が主体的に学習をすすめていけるように環境を整え、生徒たち一人ひとりが目指す将来を実現するためのサポートをしていくことがねらいです。

このような仕組みで、明確な目標をたて、

それを生徒たち一人ひとりが達成していくサイクルを創出するとともに、授業においては、生徒一人ひとりが持つタブレットを活用し、アクティブラーニングや問題解決型学習（PBL）、教科の枠を超えた探究活動や発展的学習など、新しい大学入試制度にも対応できる力を育成していきます。

本校の二つ目の改革は、国際交流・国際教育プログラムです。今日のグローバル社会において、高い英語力とコミュニケーション力、および異文化理解力を持った人材が求められています。本校では、生徒一人ひとりの英語スピーキング力の向上を図り、既存のオックスフォード大学短期留学・エンバワメントプログラムなどに加え、留学や留学生の受け入れなど、新しいプログラムの開発を進め、先進的な英語教育実践校として地位確立に努めます。

生徒の未来は無限の可能性に満ちあふれています。学校の方針と生徒の目的、保護者の皆様の願いが一致したとき、生徒の可能性も最大限となります。「知育・徳育・体育の調和のとれた人格を有し、国際社会に貢献し、活躍できる生徒」、「多様な個性を尊重し、相手の立場に立つて行動できる、意志が堅く、くじけない生徒」、「自らの能力を最大限に伸ばし、進路実現にたゆまず努力する生徒」、「主体的に課題を発見し、周囲と協働し解決することのできる生徒」、「自治と責任を重んじ、謙虚と礼儀を尊ぶ生徒」を育てたいと願っております。本校で有意義な時間を過ごし、自分の可能性を追求して成長し、夢を実現されることを願います。

はつしば学園小学校

「きく」から始まる

はつ小のまなび



校長 加藤 武志

子ども達は、一人ひとりその子にしかない個性を持っています。また、周りの人と関わる中で、そのものの見方・考え方、感じ方の違いを認め合い、一人ひとり個性的に学び合うことが、学力を向上させると確信し、創立以来、「個性」を大切にまいりました。

本校では将来社会に出て必要とされる様々な力の基礎を身に着けるために、英語教育・理科教育をはじめとする多彩な教育改革を進めてまいります。また、幅広い進路選択を可能とするために、受験に対応できる学力を育みます。

そして、社会の変化に対応できる力の素地を持ち、人間形成の基盤となる豊かな心を持つ子を育てます。その上で、夢を抱き、その実現に向けて取り組もうとする知的エネルギーを持つ子ども、未来に向かっ多様な人々と共生し、協働の道を探求し、社会で活躍できる子どもを育てたいと考えております。

子ども達が未来へ羽ばたくために、学校生活全体で「きく」こと、「聴き合い、学び合い、高め合う」ことを大切に「グループ・ペア学習」に取り組んでおります。授業において、答えが多様にある、ひとりでは解けない高い課題や教材に対し、多様な考えを聴き合い、学び合い、様々なアプローチで主体的に課題を解決していく学習、それが私たちの考える「アクティブラーニング」です。次期学習指導要領を見据えて、各教科等の年間指導計画の作成と教育課程の充実を図り、カリキュラム・マネジメントの充実に努めてまいります。中学受験に向けては、低学年より進学を意識した進路指導体制を整備して学校全体で取り組

みます。

英語教育・国際教育においては、世界で活躍するグローバルな人材に育つことを願い、4技能（聞く、話す、読む、書く）をバランスよく盛り込んで充実した授業を実施し、中高にながる英語力とコミュニケーション力の育成に努めます。さらに修学旅行やニュージーランド・カナダでの語学研修など、英語を活かせる様々な場を提供し、子ども達がコミュニケーションする楽しさを学び、将来海外で活躍できるように、後押ししてまいります。

理科教育においては、1年の生活科から6年間を見通した「はつしばサイエンス」を展開します。その中で、「創造する心、感動する心、好奇心、人や自然を大切にす心、やりとげる心」を育てます。豊かな心を育むため、自然と人に触れて楽しみながら好奇心を高める体験学習や、科学的活動を多く取り入れています。

本校はまた、「ICT活用教育」に積極的に取り組んでいます。全児童がタブレットを携帯し、効率的・効果的な授業展開を目指します。さらに、「学校図書館教育」の中で、情報活用能力の育成を図ります。タブレットの活用を併用し、教科等横断的な活動の展開を図ってまいります。

大阪初芝学園は、世界で活躍できる「創造的な人材」の育成と、教育を通して社会に貢献することをめざし、21世紀を担う人材の育成に力を注いでいます。はつしば学園小学校は「基盤となる学び」と「時代が必要とする学び」に取り組む中で、「確かな学力」を育み、子ども達の未来のために挑戦し続けます。

各校の教育方針

時代の変化に対応し、未来を生きる生徒の育成



校長 田端 明雄

初芝立命館中学校高等学校は、「主体的に学ぶ力を持ち、自己を高めることのできる生徒」「社会と積極的に関わりながら、独創性を持つて未来の社会創造に貢献できる生徒」、「グローバル社会の中で多様な文化・価値観を尊重し、夢に向かって協働できる生徒」を育成するために、立命館との提携を生かした特色ある教育活動を通して、生徒の多様な進路希望の実現に対応できる学校であることを目指しております。

本校では、中学、高校在学時から、問題解決型学習など発展的学習につながる基礎学力の定着を図るため、日常の授業において、考えさせることを中心とした授業へと改善を進めるとともに、立命館との提携による人的資源や教育施設を活用するなど、高度な学びに興味関心を抱くことのできる、特色ある中高一貫教育のモデルづくりに取り組んでいます。

中学校では平成27年度にコース再編を行い、セレクトアカデミア(SA)コースのほか、上位コースであるアドバンス立命館(AR)コースを設置し、立命館(R)コースも含め、成績基準と希望によりコース変更を可能とすることにより、確実な学力の向上につなげています。

高等学校立命館コースでは、生徒が大学入学後学生の中心となるリーダーシップを発揮できるように、中学内部進学者を中心とした高校での課題研究導入による活動的な学習と、計画的な高大連携企画を実施し、学習との関連を明確にした立命館大学各学部・諸機関と連携したプログラムの充実を図り、大学での学びに通じた「基礎学力」のさらなる向上に努めています。

高等学校グローバルコース、体育科においては中学校との接続を強化し、多様な進路希望に応えるため、進路指導体制の充実を図り、入学時学力から卒業時学力までの学力推移の分析に基づく学力向上の対策に取り組んでいます。

また、生徒に考えさせる授業への転換を図るために教員の指導力の向上と効率的指導方法の確立に努め、アクティブラーニングや課題解決型と講義型授業を組み合わせる等、授業改善を推進しています。さらに、キャリア教育の観点を生かした地球市民教育等の特色ある教育を展開することにより、確かな学力を育み、主体的に学ぶ知的探求心にあふれる生徒の育成に努めています。

近年、グローバル社会に対応できる人材の育成が求められておりますが、本校もこれまで、英語教育・国際教育に取り組んでまいりました。中学校では、オール・イングリッシュの授業や、グループ単位・少人数で授業を行い、ネイティブ教員と会話する機会を増やす取組や、スカイプを用いてフリップと同時送信で授業を行うなど、より高い語学力とコミュニケーション能力の育成に向け新たな取組を実施しております。高校では、フィンランドやシンガポールなど海外への修学旅行や語学研修・留学制度を設け語学力の伸長を図っています。中高とも、急速に進展する国際社会に対応するため、これからさらに、4技能(聞く、読む、書く、話す)の向上を目指した英語授業の改革と、英語授業と連動した国際プログラムを体系化を進め、4技能のバランスが取れた高い英語力を育成してまいります。また、異なる文化・風習の壁を越えて新たな挑戦をする姿勢とコミュニケーション能力を身に付ける教育の充実を図り、社会の要望に応え活躍できる生徒を送り出すことにより、本校の評価を高め、活気のある希望に満ちた学校づくりを進めたいと考えております。

本校は、一人ひとりの生徒を大切に、広い視野を持ち、確かな学力と豊かな個性を身につけ、グローバル社会において活躍できる国際感覚に富んだ生徒の育成に努めてまいります。

2023 に向けた

進学とスポーツを柱に夢の実現をサポート



校長 飯田 昌彦

本校は、和歌山県橋本市小峰台の丘の上であり、四季折々に姿を変える豊かな自然に囲まれています。平成3年に高等学校が、平成7年に中学校が開校され、今年でそれぞれ27年目、23年目を迎えました。

校訓「誠実剛毅」を教育の柱とし、授業・部活動・学校行事・ボランティアなどを通して個性の伸長を図り、生徒の希望・適性に合った進路の実現に努めること。また、文武両道を実現し、人権を尊重し、地域社会に貢献でき、豊かな学校生活を送れるようにすることを教育目標として取り組んでいます。

目指す学校像は「進学」と「スポーツ」が両立でき、和歌山県のみならず大阪・奈良等の広範囲に根ざす学校。立命館大学への推薦枠がある立命館コースを有し、国公立大学や有名私立大学など各自が希望する大学に進学できる学校です。また、育てたい生徒像は、知識や技能の習得だけでなく、習得したものをうまく活用し自ら課題解決ができる生徒。人や物事に対して誠実で、思いやりの心を持ち人の役に立てる、人の意欲を引き出せる生徒。意志が強く、少々のことでは挫けない、困難に打ち勝つ気力を持つ生徒です。

具体的には、中学校では、学びの深度により「プレミアム・立命館セレクションコース」と「アドバンスコース」を設け、高校受験を意識しない6年計画学習のもと、あらゆる学びに通じる基礎学力の定着を図ります。また、公立中学校にはない独自のプログラムで私学教育の特色を生かし、生徒それぞれの個性や将来を考えた教育を行っています。高等学校では、高1段階から国公立大学受験に対応するカリキュラムと豊富な授業時間で学力の伸長を図る「プレ

ミアムコース」。大学受験勉強だけにとらわれることなく、独自の高大連携プログラムと豊かな知識・人間性を育てる総合的な教育を提供することで、大学進学後につながる先進教育を実現して、推薦で立命館大学へ進学することのできる「立命館コース」。進学専攻とスポーツ専攻にわかれ有名大学進学やトップアスリートなどそれぞれの個性を伸ばし目標を実現する「アドバンスコース」の3つのコースがあります。そして、毎日の早朝テストや進学特別講座、勉強合宿、大学見学など受験対策・進学サポートを推進する「進学プロジェクト」。将来社会で自分の役割を果たし、自立して自分らしく生きるための役割を果たし、自立して自分らしく生きる

ために自分の夢に向けて努力する姿勢を育てる「キャリアプロジェクト」。グローバル社会に対応できる「英語の4技能(聞く、話す、読む、書く)」を身につけ、国際社会で活躍できる人材となるための基礎的な力を養成する「イングリッシュプロジェクト」。また「スポーツ」においては、これまで多くの運動部や選手が全国大会への出場を果たしてきました。さらに、競技力を高める取り組みを進め、各種目とも県大会優勝を常とし、近畿大会上位入賞の強豪校となることを目指すとともに、人間的にもバランスのとれた真のトップアスリートの養成を目指す「トップアスリートプロジェクト」の4つのプロジェクトを学びの基礎と位置付けています。

小学生や中学生のみならず、また保護者のみなさま、初芝橋本は生徒と教職員がともに夢を持ち、それを強い志に高め、その実現に情熱をもって挑戦しています。ぜひ学校に足を運んでいただき、本校の雰囲気を感じ取っていただきたいと思います。

教職員一同来校をお待ちしています。

初芝スイミングスクール

3月に春の短期教室を実施し、例年を上回る参加があり、子ども達に水泳の楽しさを伝える事ができました。6月にも1ヶ月体験を予定しており、より多くの子ども達に参加してもらいたいと思っています。

選手コースでは3月に行われたJOC全国ジュニアオリンピックにおいて、東京オリンピック強化選手の秦隆太郎選手が、400m自由形で優勝、1500m自由形で4位と輝かしい戦績を残しました。また、嶽下蘭子選手、阪井優心選手、中塚綾乃選手と新たに全国の舞台で戦う選手も現れ健闘しています。

今後もより魅力のある、地域に密着したスイミングとして活躍・活動してまいります。



<http://www.hatsushiba.ed.jp/swimming/>

はつしば学園幼稚園

◆卒園式・入園式

穏やかな春の日差しが心地よい日、第64回卒園式が執り行われました。子どもたちは、一人ひとり立派に胸を張って卒園証書を受け取り、楽しかった幼稚園生活の思い出の日々を胸に、巣立ちました。幼稚園で培った『遊び・発見・学びの根っこ』を大切に、小学校生活で元気にたくましく成長してくれることを願っています。そして、新年度を迎え、真新しい制服に身を包んだ126名の園児たちが入園しました。園内は可愛い笑顔が溢れ、初めての集団生活に期待を膨らませています。子どもたちが少しずつ自立し、毎日楽しく登園できるように、また、保護者の方にも安心して送り出して頂けるように、『2023基本構想・第2次中期計画』に基づき、教育の質の向上に努め、職員一丸となって丁寧な保育を行ってまいります。



平成29年度 合格実績



初芝立命館高校

和歌山大学	1名
香川大学	1名
鳥取大学	1名
琉球大学	1名
滋賀県立大学	1名
岡山県立大学	1名
高知工科大学	1名
国立大学合格	7名

立命館大学	115名
立命館アジア太平洋大学	5名
同志社大学	3名
関西学院大学	3名
関西大学	11名
近畿大学	36名
龍谷大学	11名
甲南大学	3名
京都産業大学	18名
など私立大学合格	425名

初芝富田林高校

東京大学	1名
大阪大学	2名
神戸大学	3名
北海道大学	1名
国際教養大学	1名
大阪市立大学	2名
大阪府立大学	12名
など国立大学合格123名	(大学院を含む)

立命館大学	34名
同志社大学	28名
関西学院大学	37名
関西大学	114名
近畿大学	238名
早稲田大学	5名
慶応大学	1名
上智大学	4名
など私立大学合格	902名

初芝橋本高校

岡山大学	2名
和歌山大学	2名
高知大学	1名
琉球大学	1名
北見工業大学	1名
大阪市立大学	1名
高崎経済大学	1名
国立大学合格	9名

立命館大学	32名
同志社大学	3名
関西学院大学	6名
関西大学	4名
近畿大学	17名
龍谷大学	4名
甲南大学	2名
京都産業大学	2名
東京理科大学	1名
立教大学	1名
など私立大学合格	179名

はつしば学園小学校

初芝立命館中学校	9名
初芝富田林中学校	21名
初芝橋本中学校	3名
系属中学校進学	33名

灘中学校	1名
大阪星光学院中学校	2名
東大寺中学校	4名
西大和学園中学校	8名
清風南海中学校	14名
清風中学校	7名
大阪桐蔭中学校	9名
四天王寺中学校	7名
同志社香里中学校	2名
近畿大学附属中学校	1名
愛光中学校	6名
岡山白陵中学校	1名
大教大附属平野中学校	1名
など外部中学校合格	87名

平成29年度 大阪初芝学園 入試イベントスケジュール

初芝立命館中学校

- 5月27日(土) オープンスクール・クラブ体験
- 7月 8日(土) 第1回入試説明会・授業体験
- 10月14日(土) 第2回入試説明会・入試対策講座
- 10月28日(土) プレテスト
- 11月18日(土) プレテスト個別相談会
- 12月 9日(土) 第3回入試説明会・個別相談会

初芝立命館高等学校

- 9月30日(土) 第1回入試説明会・授業体験
- 11月 4日(土) 第2回入試説明会・授業体験
- 12月 2日(土) 第3回入試説明会・入試対策講座
- 12月23日(土) 学校見学会

初芝富田林中学校

- 5月27日(土) オープンスクール
- 7月 1日(土) 個別見学会①
- 7月15日(土) 個別見学会②
- 9月16日(土) 入試説明会
- 10月21日(土) プレテスト
- 11月11日(土) プレテスト個別相談会
- 11月18日(土) 個別見学会③
- 11月25日(土) 個別見学会④
- 12月16日(土) 個別見学会⑤

初芝富田林高等学校

- 7月 1日(土) 個別見学会①
- 7月15日(土) 個別見学会②
- 11月 4日(土) 第1回入試説明会
- 11月18日(土) 個別見学会③
- 11月25日(土) 個別見学会④
- 12月 2日(土) 第2回入試説明会
- 12月16日(土) 個別見学会⑤

初芝橋本中学校

- 6月24日(土) 体験入学・第1回入試説明会
- 9月 9日(土) 第1回プレテスト・第2回入試説明会
- 10月 7日(土) 岩出市 出張入試説明会
- 11月 4日(土) 第2回プレテスト・第3回入試説明会
- 12月 3日(日) 第4回入試説明会

初芝橋本高等学校

- 9月30日(土) 学校見学会
- 10月 7日(土) 岩出市 出張入試説明会
- 10月21日(土) オープンスクール
- 11月11日(土) 第1回入試説明会
- 12月 3日(日) 第2回入試説明会

はつしば学園小学校

- 6月10日(土) 第1回オープンスクール(授業交流体験)
- 7月 6日(木) 第2回オープンスクール(給食試食体験)
- 8月27日(日) 第3回学校説明会
- 10月14日(土) 第4回学校説明会

はつしば学園幼稚園

ひよこ教室

- 第3回 7月 1日(土)
- 第4回 7月15日(土)
- 第5回 9月 2日(土)
- 第6回 3月 3日(土)
2018年

要電話予約。

園庭開放

園庭で遊んだり、製作や紙芝居・ダンス等楽しいイベントもあります。

ぜひご参加ください!

- 第3回 7月 1日(土)
- 第4回 7月15日(土)
- 第5回 9月 2日(土)
- 第6回 12月16日(土)
- 第7回 3月 3日(土)
2018年

イベント申込等、詳細は各校園ホームページをご確認ください。